

報告

# 第10回 えんとつフェスティバル2012



つなげよう資源の輪 広げよう地域の輪をテーマにしたイベント「えんとつフェスティバル2012」が昨年の10月13日(土)に開催されました。今年度は、第10回の記念事業として、これまでご尽力された実行委員や地域委員の方々に感謝の意を表して、感謝状を贈呈いたしました。当日は、清掃工場見学「モニター」やフリー

マーケット、ごみ収集車展示、廃品を利用した打楽器奏者の山口ともさんとティコポによるがらくた音楽会、よさこい、バンド演奏やゆりーとダンス、模擬店などが催されました。また、天候にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。皆様ご来場ありがとうございました。

## 夏季のごみ減量への協力について



衛生組合では、昨年の7月から9月までの間、電力需要が厳しかった平成23年に引き続き、3炉ある焼却炉の内、主力の3号炉(150トン/日)の運転を停止、4号炉及び5号炉(105トン/日×2炉)でごみ処理を行い、節電に努めました。

この期間中、処理能力が低下することから、3市市民の皆さんには、ごみを出さない工夫などのごみ減量に取り組んでいただいた結果、昨年度の同時期と比較し、約718トンの減となりました。誠にありがとうございました。

衛生組合では、日頃より設備の運用改善、照明や空調などの節電に努めています。引き続き、ごみの減量にご協力をお願いします。

## みなさんの清掃工場を見学してみませんか

衛生組合では3市から収集された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理していますが、その量は1日平均で、約203t(平成23年度)にもなります。

毎日の生活の中で出されるごみがどのように処理されるのか、ごみの減量・分別がなぜ大切なのかなど、清掃工場を見学しながら学んでみませんか?

- 通常の見学コースの所要時間は、90分程度です。
- 見学できる日は、月～金曜日です(ただし、祝日を除きます)。
- 見学には事前予約が必要ですので、下記までお申し込みください。

【見学申込先】 総務課 (☎042-341-4345)

■見学実績(平成24年4月～平成25年1月)

	小平市		武蔵村山市		東大和市		その他		合計	
	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
小学生	1,054	12	451	4	715	9	0	0	2,220	25
一般	251	19	50	7	30	8	42	1	373	35
合計	1,305	31	501	11	745	17	42	1	2,593	60

## まちの話題 こたえ

写真は、小平市で特産品をPRし、イベントを盛り上げる「地域宣伝隊・コダレンジャー」です。中央には、市内にある丸型郵便ポストから誕生した「丸ポストレッド」。右には、小平グリーンロードをPRする「グリーンロードグリーン」。左には、特産のブルーベリー栽培発祥地であることをPRするブルーベリーをイメージした「ブルーベリーパール」。この3人で構成されており、市内の武蔵野美術大学の学生がデザインしました。



## 香り漂うゆず湯で足下ほかほか

ゆず湯には血行促進や冷え性の予防などに効果があるといわれていますが、今年度も12月21日から24日までの4日間「ゆず湯」を実施しました。足湯を訪れた皆さんには、ゆずの香りが漂う中、楽しんでいただきました。



## VOICE

### 編集後記

この冬は東京にも大雪をもちました。寒い日が多く、寒がりでは不精の私は、休日には暖かいコタツに入って、本を読んだりして過ごしていました。その中で、江戸時代のごみ事情について触れている本がありました。簡単に紹介したいと思います。

江戸のまちには人口100万を擁する世界一の大都市でしたが、そこから出るごみは、川や空地などに捨てられていたそうです。環境や衛生上の問題を心配した江戸幕府は、川などへの投棄を禁止し、町内にごみ捨て場を設置しました。そして、集まったごみを業者が定期的に回収し、舟で埋立地に運び、埋立地を築き立てた。現在に通じるような仕組みを構築しました。しかも、その埋立地は畑として利用されていたというから驚きです。

また、人々もできるだけごみを出さない生活を送っていたようです。着物の物に作り変えたり、最終的に糸口布の状態になると、燃料としてカマドで燃やされた灰となり、更にその灰は業者が買い取られ、肥料や染料の材料、洗剤として利用されました。また和紙は、何回も繰り返し利用し、割れた焼物は、専門の職人によって接着して焼き直す方法で、修復されています。蠟燭は、燃やしても燃やして流れ出る蜡を集めておくと、それでもまた蠟燭を作るために業者が買い取って来たそうです。

このように、様々な業者や職人等を通じて循環型社会が形成され、限られた資源を有効に使う工夫がなされていました。当時と現代とは、ごみの内容や量もかなり違いますが、昨今のごみ問題を考える上で、江戸の人々から学ぶべきことがあるかもしれません。

こうして家にもって過ごしているうちに、寒さがだいぶ和らいで、まじまじの桜の咲く華やかで暖かな季節の訪れもまもなくのようです。

発行 小平市・村山・大和衛生組合  
 187-0033 小平市中島町2番1号  
 電話 042-341-4143 4144 4145  
 平成25年3月発行

小平市・村山・大和衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市の3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を、管理運営する一部事務組合(特別地方公共団体)です。

小平・村山・大和衛生組合

# えんとつ

## No.32

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。

組織市



## 《No.32主な内容》

- 3市共同資源化事業を進めています
- 議会報告・各種測定結果について
- 平成25年度一般会計予算及び平成23年度一般会計決算

## まちの話題 小平市

### この人たちはだれ?







# 小平市、東大和市、武蔵村山市、小平・村山・大和衛生組合では、3市共同資源化事業を進めています

## 3市共同資源化事業とは



3市共同資源化事業とは、持続可能な資源循環型社会、さらなるごみ減量と資源化を目指して、小平市、東大和市、武蔵村山市及び小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という）の4団体が協力して進めている事業です。従来から、3市においては、資源循環型社会を目指して、廃棄物減量への取組み、リサイクルを推進してきましたが、一方では、処理施設の老朽化や処理能力の限界などの課題がありました。また、3市で構成する組合においても、粗大ごみ処理施設の更新が早急に必要なこと、3市の資源化品目の不一致による搬入廃棄物の取り扱いの違い等の課題が挙げられており、このため、3市と組合の4団体では、平成15年度から、平成33年度のごみ焼却施設の更新も視野に入れて、ソフト面では減量施策や3市の資源化基準の統一など、ハード面では3市共同資源物処理施設の整備と現在の粗大ごみ処理施設の更新を内容とする3市共同資源化事業の検討を進めてきました。

## 3市共同資源化事業に関する4団体で確認された基本事項

平成22年4月の「3市共同資源化事業の推進について（報告）」に基づき、事業を進めてきましたが、用地制約等の課題から、平成22年6月には、東大和市における「3市共同資源物処理施設建設の受け入れが不可能」との決定があり、平成23年1月の会議では、「東大和市の決定が覆らないということであれば、それに変わる考えを示していたく」という共通認識を4団体が持つことになりました。そして、平

### 「4団体で確認された基本事項について（要旨）」

- ①住民の納得を得るために4団体が一致した行動をとっていくことを第一としたうえで、
- ②3市共同資源物処理施設の取り扱う資源物の品目を6品目から2品目（ペットボトル、その他プラスチック製容器包装）に変更する。
- ③3市共同資源物処理施設には、還元施設として環境学習機能や再生工房等、プラザ機能の充実を図る。

**これまでの経緯（平成15年度～現在）**

平成15年度	3市が共同で資源化事業を行うことの可能性を検討
平成16年度	資源として共同処理する対象品目及び必要な施設整備の検討
平成17年度	3市が共同で行う資源化事業の範囲の検討
平成18年度	「3市共同資源化等に関する調査報告書」の作成
平成19年度	組合理事者（3市市長）が事業推進について確認
平成20年度	「3市共同資源化推進市民懇談会」の設置
平成22年度	「3市共同資源化事業の推進について（報告）※1」の取りまとめ 東大和市からの施設建設の受け入れの不可能の決定（6月） 3市共同資源化推進本部会議において4団体の共通認識を確認（1月）
平成24年度	「3市共同資源化事業の取扱いについて」の東大和市からの提案（11月） 「3市共同資源化事業に関する基本事項について」の3市市長と組合管理者の4者間の確認（1月）

※1 3市共同資源化事業の推進について（報告）の要旨  
 ①容器包装プラスチックは、指定法人ルートによる資源化を推進する。  
 ②3市共同資源物処理施設は、限られたスペースの中、機能的な施設として、想定地（東大和市暫定リサイクル施設用地）で資源6品目を処理、運用できる施設とする。  
 ③不燃・粗大ごみ処理施設には、再生工房や環境学習機能等のプラザ機能を整備し、配置については、小平市清掃事務所側を基本とする。

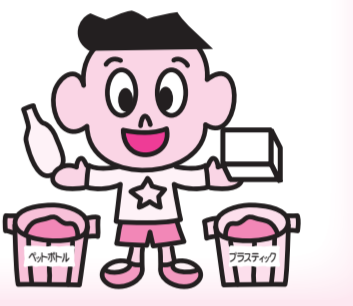
成24年11月に、東大和市から小平市及び武蔵村山市に「3市共同資源化事業の取扱いについて」が提案され、これを受け、3市による実質的な協議が進められ、平成25年1月には、「3市共同資源化事業に関する基本事項について（以下「基本事項」という）」を 3市市長と組合管理者の4者の間で確認しました。

## 3市共同資源物処理施設（2品目の処理施設）の主な内容について

4団体では、基本事項に基づき、3市共同資源物処理施設（2品目の処理施設）の主な内容について、以下のとおり確認しました。この内容は、平成22年4月の3市共同資源化推進本部の報告にある6品目の処理施設が2品目となったことが大きな変更となっています。当施設は、現時点での概要等を想定しており、施設の規模等を含め、施設整備の段階で、再度見直しをします。

### 想定される3市共同資源物処理施設（2品目の処理施設）の主な内容について

項目	2品目施設	6品目施設（従来の計画）
用地	想定地（東大和市暫定リサイクル施設用地）	同左
処理能力	39t/日	60t/日
建築面積	約2,060㎡	2,343㎡
構造	地上2階構造（地下ピット有り）	地上3階構造（地下ピット有り）
稼働シミュレーション	搬入車両…120台程度/日・搬出車両…26台程度/週 施設稼働時間…午前8時～午後5時（月～金曜日） 原則として、土曜日・日曜日の搬出はない。	搬入車両…155台/日・搬出車両…50～51台/週 施設稼働時間…午前8時～午後5時（月～金曜日） 乾電池・蛍光管の搬出のみ、土曜日（または日曜日）に半日程度有り。
緑化	地上部に東京都条例に基づく面積を上回る緑化を図る他、接道部の緑化や屋上緑化を行う。	東京都条例に基づき、地上部に630㎡を緑化し、その他、接道部の緑化や屋上緑化を行う。
プラザ機能	地域還元施設として、環境学習機能、再生工房等の充実を図る。	—
概算経費	建設費20億円程度	建設費33億円



## 今後、事業を進めるに当たって

4団体では、3市共同資源化事業に関する説明会を開催し、2月の説明会では、様々な意見をいただいています。3市共同資源化推進本部では、住民への事業説明の結果を3市市長と組合管理者に報告します。今後事業を進めるに当たっては、施設の具体的な内容について、今後策定予定の（仮称）基本構想などで、道路交通への影響、周辺環境との調和、操業に伴う騒音・振動・光害、臭気及びVOC（揮発性有機化合物）対策、生活環境影響調査、プラザ（環境啓発）機能の事項を踏まえた、望ましい施設の姿を明らかにして、想定地周辺

の地域住民の皆様や3市市民の皆様の意見を伺いながら進めていきたいと考えています。

### 今後の説明会の日程について

3月17日（日）	午後7時から	小平市中央公民館学習室4
3月19日（火）	午後7時から	武蔵村山市役所4階401会議室
3月21日（木）	午後7時から	東大和市役所会議棟6会議室

※周辺地域への説明会は2月14日、16日、17日に東大和市桜が丘市民センター集会所、17日に小平・村山・大和衛生組合会議室で実施しました。

## 小平・村山・大和衛生組合議会報告

平成24年11月定例会（11月20日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第9号	専決処分（東京都市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について）の承認を求めることについて	承認
議案第10号	平成23年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第11号	平成24年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第1号）	原案可決

平成25年2月定例会（2月20日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第1号	専決処分（損害賠償の額の決定及び和解について）の承認を求めることについて	承認
議案第2号	小平・村山・大和衛生組合技術管理者の資格を定める条例	原案可決
議案第3号	小平・村山・大和衛生組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	平成24年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第5号	平成25年度における小平・村山・大和衛生組合を組織する市の分担金額について	原案可決
議案第6号	平成25年度小平・村山・大和衛生組合一般会計予算	原案可決

なお、会議録につきましては、作成次第、衛生組合のホームページに掲載しています。

## 平成24年度情報公開の状況

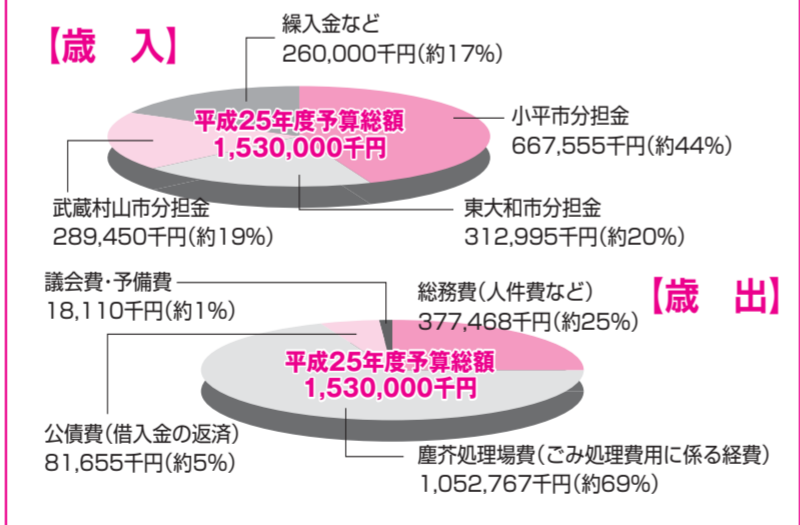
情報公開制度は、すべての人に小平・村山・大和衛生組合が保有する文書等の情報の公開を求める権利を保障するものです。情報公開を希望される方は、総務課（4・5号ごみ焼却施設3階組合事務所）にて公開の請求手続きを行ってください。なお、平成24年度の情報公開状況は右のとおりです。

期間：平成24年4月1日～25年1月31日

請求件数	2件
公開	1件
一部公開	0件
非公開	0件
不存在	1件
公開率*	100%

\*公開率=(公開+一部公開)÷(請求+不存在)

## 平成25年度一般会計予算（概要）



**（平成25年度の主な事業）**  
 ごみ焼却施設ガス冷却灰排出設備工事  
 排ガス連続測定機更新工事  
 ごみ焼却施設飛灰搬送コンベア補修工事  
 ごみ焼却施設No1No2主灰出コンベア更新工事

## 平成23年度一般会計決算（概要）

歳入 1,609,461,201円  
 決算額 歳出 1,579,500,569円  
 差引残額 29,960,632円

**（平成23年度の主な事業）**  
 ごみ焼却施設ガス冷却室容積アップ工事  
 ごみ焼却施設投入ホッパー更新工事

## ダイオキシン類の測定結果

**環境大気**  
 衛生組合では、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を、夏季と冬季の年2回実施しています。平成24年度夏季分は、平成24年8月15日から8月22日の間、連続で試料を採取しました。

測定地点	大気環境基準	測定結果		
		平成24年度(夏季分)	(参考)平成23年度(夏季分)	
衛生組合測定	0.6以下	東大和市立第二小学校	0.018	0.022
		小平市立中島地域センター	0.017	0.024
		小平市立上新町地域センター	0.011	0.017
		立川市立けやき台小学校	0.015	0.022
立川市清掃工場測定	0.6以下	立川市立立川第四中学校	0.015	0.021
		立川市立若葉小学校	0.014	0.021
		立川市若葉児童館	0.018	0.016

(注) 大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく、大気汚染に係る環境基準です。

**ごみ焼却施設**  
 ごみの焼却に伴い発生する排ガス等に含まれるダイオキシン類の測定は、各施設年1回実施しています。前回お伝えできなかった3号炉の結果についてお知らせします。なお、測定結果は、ホームページでもご覧いただけます。

測定項目	排出ガス	焼却灰	はいじん(飛灰)	
(単位)	(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	(ng-TEQ/g)	(ng-TEQ/g)	
基準値	1	(3)	(3)	
3号炉	試料採取日 平成24年10月31日	0.014	0.0032	0.19

(注) 基準値は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排出基準値。なお、焼却灰、はいじん(飛灰)の( )内の値は、薬剤処理等を実施する判断基準値です。  
 <単位・記号の説明>  
 1ng(ナノグラム)は、10億分の1グラムです。  
 TEQ(毒性等量)は、種類により異なるダイオキシン類の毒性の強さを、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンの毒性に換算して表した量です。  
 m<sup>3</sup>N(ノルマル立方メートル)は、摂氏0度、1気圧の標準状態における気体の体積(立方メートル)を表します。

## 焼却灰等の放射性物質濃度及び空間放射線量の測定結果

衛生組合では、「主灰、飛灰、排ガス」の放射性物質濃度と敷地境界「東西南北4カ所及び東側樹林」における空間放射線量の測定を定期的実施しています。測定結果は、ホームページでもご覧いただけます。

**■放射性物質濃度測定結果** (単位: 主灰・飛灰: Bq/Kg、排ガス: Bq/m<sup>3</sup>)

採取日	主灰	飛灰	排ガス
平成24年 9月13日	87	742	不検出
平成24年10月11日	111	696	不検出
平成24年11月14日	68	617	不検出
平成24年12月13日	61	293	不検出
平成25年 1月15日	34	245	不検出
平成25年 2月14日	23	280	不検出

- ※1 主灰は、焼却炉の灰出設備から排出される灰
- ※2 飛灰は、焼却炉の集じん器(バグフィルター)で捕集された灰
- ※3 主灰・飛灰の数値は、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」の合計値(国が示す埋立処分を可能とする放射性物質の暫定基準値は、0.00Bq/Kg以下)
- ※4 排ガスは、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」のいずれも不検出

### ■空間放射線量 測定結果(地上高さ1m、5回測定の平均値)

(単位: μSv/h)

測定日	東	西	南	北	衛生組合東側樹林(バックグラウンド)
平成24年 9月13日	0.069	0.056	0.063	0.068	0.056
平成24年10月11日	0.066	0.068	0.065	0.062	0.043
平成24年11月14日	0.072	0.068	0.052	0.068	0.051
平成24年12月13日	0.062	0.063	0.059	0.066	0.040
平成25年 1月15日	0.066	0.064	0.047	0.061	0.045
平成25年 2月14日	0.075	0.071	0.054	0.070	0.046